

「ふるさと納税っていいのかな？」

私の家はしていない。広告でよく流れてくるので気になっていた。私のイメージは、地方の特産品がもらえて得することができるという印象だった。しかし、デメリットも多いことが調べて分かった。

ふるさと納税とは自分が応援したい地域に寄附ができ、代わりに地域の特産品がもらえる。そして今住んでいる地域の住民税が安くなる制度だ。メリットは特産品がもらえること。寄附金の使い道を選べること。寄附される地方は財政が潤い発展できることだ。デメリットは住民が地方の地域に寄附している都市部で税収が減ること。よって公共サービスの質が低下してしまうことだ。

これらの調べたことを通して、私はふるさと納税はしないほうがいいのではないかと思った。なぜなら実際に豊田市ではふるさと納税の影響で、本来納められるはずだった住民税のうち、約十三億円が市外へ流出してしまったそうだ。これは公共サービスが低下してしまう深刻な状況だと思う。私が普段利用している図書館も税金で成り立っている。病院の治療費も税金があるから安く済んでいる。もし自分の居住地に税金を払っていなければ、これらのサービスを利用するには申し訳ないと思ってしまう。サービスの恩恵を受けるからには自分もお金を払って対等な関係で利用したいと私は思った。

また現在のふるさと納税は本来の地域を応援するという趣旨から外れて返礼品合戦になっているという記事もあった。私も調べる前は、ふるさと納税といえば各地の特産品がもらえるという印象しかなかった。応援したい地域に納税する。本来の趣旨を考えたらうえて、私が一番応援したいと思う地域は自分が住んでいる町田市だと思った。そのため、ふるさと納税はしなくていいかなという結論に至った。自分の納めている税金で町が整備されたり、新しい公共施設ができれば嬉しいし、たくさん利用したいと思った。

ふるさと納税にはメリットとデメリットがあり、それぞれを理解して利用するかを考える必要があると思った。「ふるさと納税っていいのかな？」今回私はあまり良くはないと感じたが、もちろんメリットもたくさんあると思う。また大切なことは、ただ税金を払っているという意識ではなく、税金は何に使われているのか。疑問に思うことだと思う。自分で税金の使われ道を調べて、良いと思ったものを選択する。それが税金への理解の一步だと私は思った。私達は毎日税金に支えられて生きている。そのため自分も国、地域の一員であるという意識をもっていきたい。